

# び組上げ方法

及び組上げ方法について、

するための説明図として作成した  
している部分があります。)

あいな場合等二側足場の設置が  
ことができる。  
建方作業のため、全周にわたっ  
必要最小限において一部開放の構  
造部分については、階ごとの建  
物の足場を組み上げる。

は建築物の外壁位置と足場の作  
業できるように設け、足場には手す  
りが設けられる。  
ことが困難な場合には労働者に

10cm以下。  
は、足場に前手すりを設ける。  
ネットを設け又は労働者に安  
置を講じる。



## ● シート等

### ① 建方作業前

足場先行工法においては、建方作業後壁つなぎ等による足場の補強が完了するまで、原則として、シート等を設置してはならない。建方作業前にシートを設置せざるを得ない場合は、風荷重等により足場が倒壊することのないよう、十分補強した上で設置。

### ② 建方作業後

- ・ 屋根及び足場の作業床等からの材料、工具等の飛来落下による災害を防止するため、シート等を設置することが望ましい。
- ・ シートの自重及び風荷重を考慮して足場を十分に補強。
- ・ 足場の建地、布等の間隔に応じた寸法のものを使用。
- ・ すべてのハトメで容易に外れないよう足場に緊結。

## ● 手すり等の取付け位置

手すりの高さは、85cm以上。

中さんの位置は、高さ35cm以上で50cm以下。

## ● 幅木

物体の落下防止措置として、高さ10cm以上の幅木又はメッシュシート等を設置する。

## ● 布の間隔

布の間隔は、2m以下。

## ● 地上第一の布

地上第一の布は、2m以下の位置に設置。ただし、建地を二本組にした足場及び隣接する面が緊結されている構造の足場は、2.3m以下の位置に設置。

## ● 壁つなぎ又は控え

### ① 建方作業前

各面に控えを設置。ただし、敷地が狭いので控えを設けることが困難な場合には全周を緊結。

### ② 建方作業後

各面に控えを設けた足場以外の足場にあつては、足場の全周を完全に組み上げ、各面を相互に緊結するとともに、速やかに各面に壁つなぎを設置。

建築物の構造等により壁つなぎを設けることが困難な場合には、火打ち及び圧縮材等を設け、かつ、足場の一面の長さが長い場合には頭つなぎを設けて足場を補強。

## ● 根がらみ

- ① 根がらみは、できる限
- ② 根がらみをはずした開  
等で補強。

